

課題

- 少子高齢化が進展する中、こどもや高齢者の安全を一層確保することが必要
- 外国人運転者による交通事故件数が増加する中、外国人運転者に対する交通安全対策が必要
- 自転車の安全利用を促進し、交通反則通告制度の導入等も踏まえた自転車の基本的な交通ルールの周知が必要
- 特定小型原動機付自動車やペダル付き電動バイクの安全対策の推進が必要
- 地域の交通安全対策の担い手となる民間団体の継続的な活動のための支援が必要

▶ 課題を踏まえた新たな対策を盛り込むとともに、既存の施策も取組を継続・強化する形で作成

計画案(目次抜粋)

陸上交通の安全

第3節 道路交通の安全についての対策

I 今後の道路交通安全対策を考える視点

<重視すべき視点>

高齢者の安全確保

こどもの安全確保

歩行者の安全確保と遵法意識の向上

自転車の安全確保と遵法意識の向上

特定小型原動機付自転車をはじめとする

小型モビリティの安全対策の推進

生活道路における安全確保

外国人に対する交通安全対策の推進

先進技術の活用推進

交通実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進

地域が一体となった交通安全対策の推進

II 講じようとする施策

1 道路交通環境の整備

2 交通安全思想の普及徹底

3 安全運転の確保

4 車両の安全性の確保

5 道路交通秩序の維持

6 救助救急活動の充実

7 被害者支援の充実と推進

8 研究開発及び調査研究の充実

主な内容

高齢者の安全確保

▶ 歩行中、自動車乗車中等の事故実態に応じた交通安全対策の推進

▶ 高齢運転者の逆走防止の取組の推進

こどもの安全確保

▶ 全席で正しくシートベルトを着用することの徹底や、6歳以上の児童でも体格に応じて適切なチャイルドシートの着用定着を図るための広報啓発の推進

歩行者の安全確保

▶ 歩車分離式信号の整備推進等、安全・安心な歩行空間の確保を推進

▶ 運転車に対する歩行者保護意識の醸成、歩行者に対する反射材着用の促進や安全な横断方法等、自ら安全を守るための行動を促す交通安全教育の推進

自転車の安全確保

▶ 反則金導入を踏まえた自転車の基本的な交通ルールの周知徹底に向けたライフステージ別の交通安全教育の充実

▶ 自転車の悪質・危険な違反に対する取締りの推進

外国人に対する交通安全対策の推進

▶ 関係機関・団体・地域社会、使用者、事業者等による、様々な機会を活用した日本の交通ルールの周知・理解促進を図るための交通安全教育の推進

地域が一体となった交通安全対策の推進

▶ 地域の交通安全活動の担い手となる民間団体の継続的な活動への支援

道路交通秩序の維持

▶ 特定小型原動機付自転車やペダル付き電動バイクの安全対策の取組の強化
研究開発及び調査研究の充実

▶ 自動運転・遠隔操作小型車の制度の円滑な運用